

CORNER SEAL STRUCTURE FOR DOOR GLASS RUN

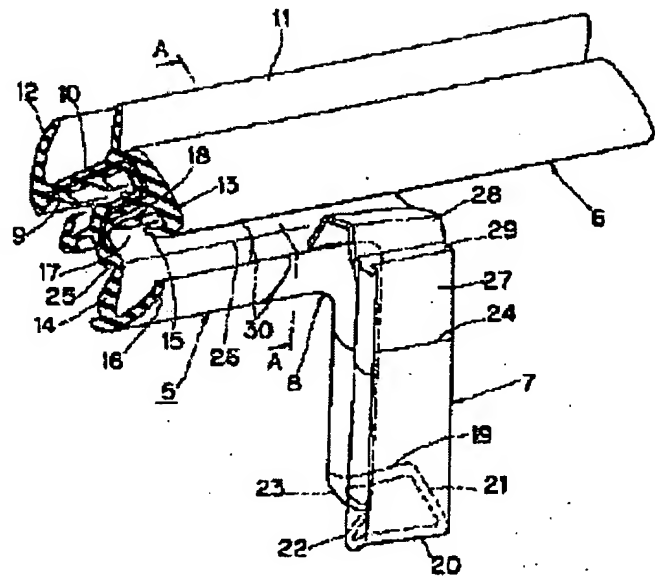
Patent number: JP2001322437
Publication date: 2001-11-20
Inventor: USUHA MASAHIRO
Applicant: KINUGAWA RUBBER IND CO LTD
Classification:
- International: B60J10/08
- european:
Application number: JP20000142996 20000516
Priority number(s):

Best Available Copy

Abstract of JP2001322437

PROBLEM TO BE SOLVED: To eliminate a secondary trouble such as seal failure in the dispersion between the dimension between corners of a door sash upper edge part and the dimension between corners of a door glass run in the same position.

SOLUTION: In a corner type mold part 8 for connecting a glass run upper edge part 6 to a glass run channel part 7, a bag-like or cup-like seal lip 28 is integrally formed on a corner channel part 27 corresponding to a glass run extension part. The seal lip 28 is made to internally contact with a glass receiving groove 17 on the glass run upper edge 6 side, whereby the longitudinal relative displacement between the glass run upper edge part 6 and the glass run channel part 7 is allowed while keeping the connecting property between the seal parts on the glass run upper edge part 6 side and the glass run channel part 7 side.



- | | |
|-------------------------------|------------------|
| 5...ドアガラスラン | 17...ガラス受容溝 |
| 6...ガラスラン上辺部 | 19...車室内側の側壁部 |
| 7...ガラスランチャンネル部
(ガラスラン側辺部) | 20...車室外側の側壁部 |
| 8...コーナー型成形部 | 21...底壁部 |
| 10...ウェルト部 | 22...アウトシールリップ |
| 14...モールド部 | 23...インナシールリップ |
| 15...アウトシールリップ | 26...折れ線 |
| 16...インナシールリップ | 27...コーナーチャンネル部 |
| | 28...カップ状のシールリップ |

Data supplied from the esp@cenet database - Patent Abstracts of Japan

Best Available Copy

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2001-322437

(P2001-322437A)

(43) 公開日 平成13年11月20日 (2001. 11. 20)

(51) Int.Cl.⁷

B 6 0 J 10/08

識別記号

F I

B 6 0 J 5/00

テーマコード (参考)

5 0 1 H

審査請求 未請求 請求項の数 2 O L (全 6 頁)

(21) 出願番号 特願2000-142996(P2000-142996)

(22) 出願日 平成12年5月16日 (2000. 5. 16)

(71) 出願人 000158840

鬼怒川ゴム工業株式会社

千葉県千葉市稲毛区長沼町330番地

(72) 発明者 薄葉 昌弘

千葉県千葉市稲毛区長沼町330番地 鬼怒

川ゴム工業株式会社内

(74) 代理人 100062199

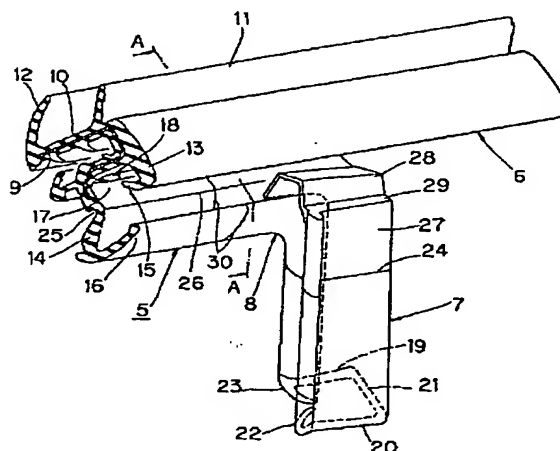
弁理士 志賀 富士弥 (外3名)

(54) 【発明の名称】 ドアガラスランのコーナー部シール構造

(57) 【要約】

【課題】 ドアサッシュ上辺部のコーナー部間寸法と同等部位のドアガラスランのコーナー部間寸法がばらついていた場合のシール不良等の二次的不具合の発生をなくす。

【解決手段】 グラスラン上辺部6とグラスランチャンネル部7とを接続するコーナー型成形部8のうちグラスラン延長部に相当するコーナーチャンネル部27に袋状もしくはカップ状のシールリップ28を一体に形成する。シールリップ28をグラスラン上辺部6側のガラス受容溝17に内接させることで、グラスラン上辺部6側とグラスランチャンネル部7側のシール部位同士との連続性を保ちながら、そのグラスラン上辺部6とグラスランチャンネル部7との前後方向での相対変位を許容する。



5---ドアガラスラン
6---グラスラン上辺部
7---グラスランチャンネル部
(グラスラン延長部)
8---コーナー型成形部
10---ウエルト部
14---モール部
15---アウトシールリップ
16---インナシールリップ

17---ガラス受容溝
19---車室内側の側壁部
20---車室外側の側壁部
21---座席部
22---アウトシールリップ
23---インナシールリップ
26---折れ線
27---コーナーチャンネル部
28---カップ状のシールリップ

ス受容溝17に内接させることで、グラスラン上辺部6側とグラスランチャンネル部7側の底壁部のシール部位同士および車室外側の側壁部のシール部位同士の連続性を保ちながら、上記ガラス受容溝17とカップ状のシールリップ28との圧接部位において、グラスラン上辺部6とグラスランチャンネル部7との間でのグラスラン上辺部長手方向での相対変位を許容するようにしてある。

【0025】したがって、本実施の形態によれば、図4にも示すようにドアサッシュSのドアサッシュ上辺部S1のうちそのコーナー部C1、C2間距離とドアグラスラン5側の同等部位の距離とがドアサッシュSの組付誤差あるいはドアグラスラン5の製造誤差等のためにばらついたとしても、先に説明したようにカップ状のシールリップ28の圧接部においてグラスラン上辺部6とグラスランチャンネル部7との前後方向での相対変位が許容されることから、上記のばらつきを吸収しつつ、グラスラン上辺部6はドアサッシュ上辺部S1を基準として、またグラスランチャンネル部7はパーティションサッシュS3を基準としてそれぞれ組み付けることが可能となる。また、ドアガラス2の上昇時には上記カップ状のシールリップ28がそのドアガラス2の後部上方のコーナー部を受容する。

【0026】これにより、図5に示したような位置ずれQの発生を未然に防止できるとともに、ドアガラス2とドアグラスラン5との過干渉によってドアガラス2が完全に閉め切らない等のトラブルを確実に防止できるようになる。その上、上記のようにグラスラン上辺部6とグラスランチャンネル部7との相対変位を許容しつつも、グラスラン上辺部6側とグラスランチャンネル部7側のシール部位の連続性は保たれたままであるあら、シール不良等を招くことなく本来のシール性も向上することになる。

【0027】ここで、上記実施の形態では、自動車のリアドア1におけるドアサッシュ上辺部S1とパーティションサッシュS3とのなすコーナー部C2に本発明を適

用した場合を例にとって説明したが、本発明は図4のコーナー部C1のほか、フロントドア側の同等部位にも適用できることは言うまでもない。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の好ましい実施の形態を示す図で、図4のコーナー部C2に相当する部分の要部拡大斜視図。

【図2】図1に示すドアグラスラン単体での展開状態を示す斜視図。

【図3】図2のA-A線に沿う断面図。

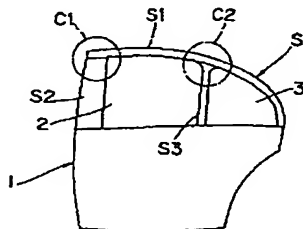
【図4】自動車のリアドアの説明図。

【図5】図4に示すコーナー部C1の拡大説明図。

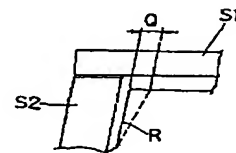
【符号の説明】

- 2…ドアガラス
- 3…パーティションガラス
- 5…ドアグラスラン
- 6…グラスラン上辺部
- 7…グラスランチャンネル部（グラスラン縦辺部）
- 8…コーナー型成形部
- 10…ウエルト部
- 14…モール部
- 15…アウトシールリップ
- 16…インナシールリップ
- 17…ガラス受容溝
- 19…車室内側の側壁部
- 20…車室外側の側壁部
- 21…底壁部
- 22…アウトシールリップ
- 23…インナシールリップ
- 26…折れ線
- 27…コーナーチャンネル部
- 28…カップ状のシールリップ
- S…ドアサッシュ
- S1…ドアサッシュ上辺部
- S3…パーティションサッシュ（ドアサッシュ縦辺部）

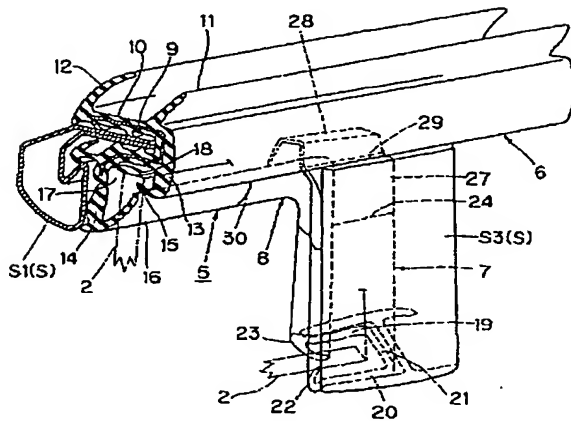
【図4】



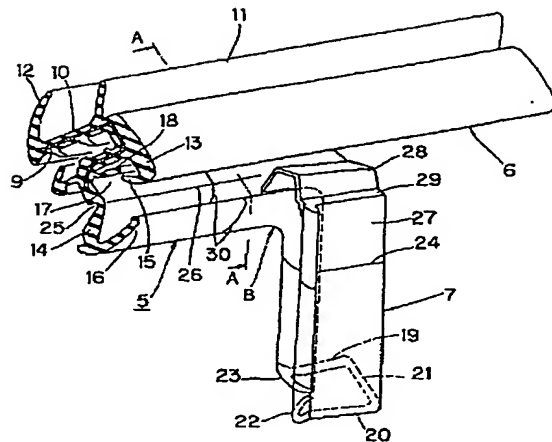
【図5】



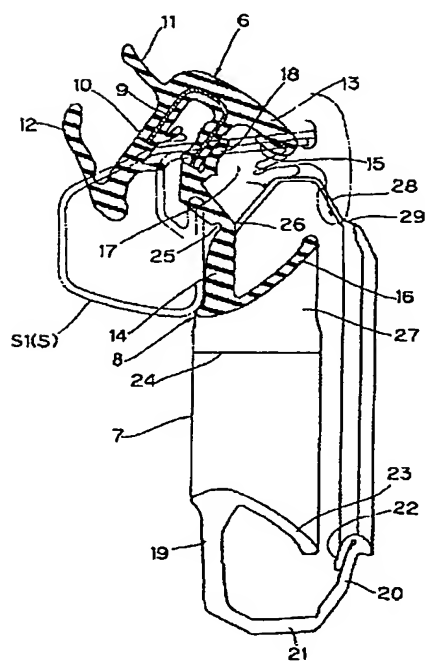
【図1】



【図2】



【図3】



- | | |
|-----------------------------|----------------|
| 5—ドアクラスラン | 17—ガラス受容溝 |
| 6—グラスラン上辺部 | 19—車室内側の側壁部 |
| 7—グラスランチャンネル部
(グラスラン縦辺部) | 20—車室外側の側壁部 |
| 8—コーナー型成形部 | 21—底壁部 |
| 10—ウエルト部 | 22—アウトシールリップ |
| 14—モール部 | 23—インナシールリップ |
| 15—アウトシールリップ | 25—折れ線 |
| 16—インナシールリップ | 27—コーナーチャンネル部 |
| | 28—カップ状のシールリップ |